	愛知	平成 21 年 8 月 4 日 No.2009-2
	岐阜・石川	社団法人 日本放射線技術学会 中部部会
三重・福井	事務局：〒920-8641	
静岡・富山	金沢市宝町 13-1	
	金沢大学附属病院放射線部内	
	TEL:076-265-2010	
	FAX:076-234-4311	
	URL http://jsrt-chubu.org/index.cgi	

巻頭言

＝ 第 2 回中部放射線医療技術学術大会 ＝ 演題募集中

「第 44 回中部部会学術大会の開催にあたり」

第 44 回中部部会学術大会
大会長 横山 龍二郎

昨年の 11 月 23 日、24 日の 2 日間に福井で行われた第 1 回中部放射線医療技術学術大会に引き続き、第 2 回中部放射線医療技術学術大会が「ネットワークで結ぶ放射線技術」という大会テーマのもと、平成 21 年 11 月 7 日（土）、8 日（日）に岐阜県大垣市のスイトピアセンターで行われることに決定されました。この会場は平成 17 年の第 40 回中部部会学術大会が行われた会場ですので、ご記憶の会員の方もおられることと存じます。

第 1 回目の福井県の大会では技師会ならびに技術学会の大会長をはじめ実行委員会の皆様のご尽力により大成功のうちに終わられました。第 2 回目の岐阜県もこれに負けず劣らず盛大に、かつ成功裏に終わられるように実行委員会の皆様をはじめ、多くの会員の皆様のご協力をいただきながら進めてゆきたいと考えています。また、そのためにも多くの会員の皆様からの演題の投稿が不可欠ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

今回、大会長という大役を東村前部会長より拝命いたしました。ご期待に添えるように与えられた責任を果たすことが私の責務であると同時に、その責任の大きさをひしひしと感じ、身の引きしめる思いで一杯です。

現在実行委員会で大会内容の詳細を詰めている段階ですが、会員の皆様のご期待に沿えるように出来るだけ盛りだくさんの内容にしたいと考えています。

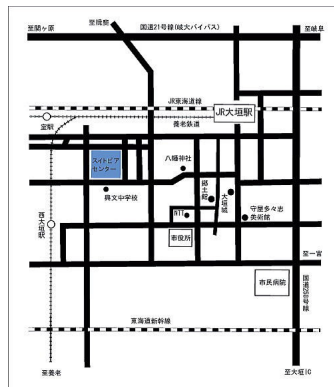
現在予定しています内容としましては、11 月 7 日に特別講演を「肝の MRI ー最近の

話題を交えて」と題して岐阜大学医学部附属病院 放射線部部長の兼松雅之先生にご講演いただく予定です。兼松先生は腹部領域の画像診断がご専門で世界的にも著名な先生です。今回は特に肝臓のMRIにおける最新のお話がお聞きできると思います。また、福井と同様に日本放射線技師会長の北村善明先生と日本放射線技術学会長の小寺吉衛先生による特別企画「技師教育について」も行われる予定です。また、シンポジウムは「医療連携の現状と将来」と題した内容で行う予定となっております。また、市民公開講演会は「新型インフルエンザの脅威ー岐阜県の取り組みー」と題して、岐阜県 健康福祉部 保健医療課 感染症対策企画監の樋口行但氏をお招きしてご講演いただく予定です。

また、意見交換会（懇親会）を7日（土曜日）に会場内のスイトピアホール（第3会場）にて18時30分より盛大に開催致しますので、皆様是非ご参加いただければと思います。

大垣は水の都といわれ、食べ物もおいしく、まさに水も滴る美人も多いといわれています。また隣の岐阜市では信長ゆかりの岐阜城や鮎で有名な天下の長良川が流れています。また、すこし足を延ばしていただければ、郡上踊りで有名な郡上八幡や小京都といわれる高山などを散策されるのもお勧めです。

ぜひ多くの方々のご参加を頂きますように、何卒よろしくお願い申し上げます。



第2回中部放射線医療技術学術大会

第18回中日本地域放射線技師学術大会
第44回日本放射線技術学会中部部会学術大会

in 大垣

2009年 11月7日(土)～11月8日(日)

お知らせ1

第2回中部放射線医療技術学術大会演題募集要項

1. 演題申込資格

発表者（演者）は、日本放射線技術学会正会員または学生会員、あるいは日本放射線技師会会員に限ります。非会員の方が発表される場合には、あらかじめ両団体のどちらかの会員登録が必要です。

2. 演題申込方法

演題登録は、中部放射線医療技術学術大会ホームページ「演題募集」

<http://ccrt2009.umin.ne.jp/bosyu.html> よりオンライン登録方式でおこないます。（なお、演題登録フォームは日本放射線技術学会中部部会「学術大会演題申し込み」フォームを共用しております。）

3. 募集期間

平成21年7月1日（水）から8月31日（月）まで

4. 登録に関する注意

・発表者名の記載について

発表者氏名、所属施設名のほかに会員番号の記載が必要です。技術学会、技師会の両方に所属している場合は、それぞれの会員番号を記載してください。また学生会員の場合は指導教官名も記載してください。

所属記入欄（Affiliation）には、所属施設名および所属名を記入し、共同演者の所属施設もしくは所属名が異なる場合には次欄に同じ形式でご記入ください。

・発表抄録について

発表抄録は、**400字以内**です。発表内容には図表は使用せず、目的・方法・結果・考察ごとにわかりやすく記述してください。

・登録内容の変更について

登録内容の変更は、演題申込期間の終了日まで受け付けます。変更内容を明記し、下記「演題に関する問い合わせ先」へ必ずメールにてお送りください。

・技師会会員のポイント申請に関する情報の記載について

技師会会員の場合は発表者（演者）、共同演者とも、会員番号のほかに所属都道

府県放射線技師会名、技師格の種別の記載が必要です。また演題区分、キーワードは、選択肢の中から該当するもの選んでください。

5. 演題の採否、発表日時について

応募演題の採否、日時の決定は、プログラム委員会を経て大会長に一任させていただきます。演題採用通知は、10月初旬ごろまでにメールにて通知いたします。

6. 演題に関する問い合わせ

第2回中部放射線医療技術学術大会プログラム委員会

E-mail : ccrt2009-office@umin.ac.jp

お知らせ2

今後の中部部会の部会セミナー等の開催予定についてお知らせします。奮ってご参加ください。詳細が未定な行事等については今後のビーム中部および中部部会ホームページにて随時案内する予定です。

部会セミナー

◆ 第2回日本放射線技術学会 中部部会 部会セミナー

日時：平成22年1月23日（土）

場所：名古屋大学医学部保健学科 東館4階大講義室

内容：乳房画像の基礎から実践まで

◆ 放射線技術評価セミナー（学術委員会共催）

日時：平成22年9月26日（土）

場所：石川県地場産業振興センター 本館 第3研修室

内容：救急検査の質評価と安全を考える（会告1に詳細）

会告 1

第2回放射線技術評価セミナー

－救急検査の質評価と安全を考える－

日本放射線技術学会 中部部会

最先端の放射線医療機器を臨床に有効に活かすためには、より高度で安全性を備えた専門技術の質確保が求められています。ところで放射線技術の質とは何でしょうか。検査機器の性能の熟知、解剖・病理学を熟知することによる画像情報の判断能力（読影力）の向上、リスクコミュニケーション能力の向上等が挙げられるでしょう。これらの専門技術に対する適正な評価や価値を理解してもらうためにはエビデンスを明確にして、その技術が患者にどのような効果や満足度を与えられたか、アウトカムとなる成果や期待度を質の評価とし検討していくことが重要です。そこで今回は、「救急検査の質評価と安全を考える」のテーマで中部部会、学術委員会（医療安全対策小委員会、医療機器と画像技術評価小委員会）の共催でセミナーを開催します。このセミナーでは、金沢大学救急部長の後藤由和先生に救急医療の現状について、大阪府立泉州救命救急センターの坂下恵治先生に新たに立ち上がる救急撮影認定技師についてご講演いただき、続いて救急検査の医療安全シンポジウムを行います。また、医療機器と画像技術評価小委員会の先生方により、技術教育と質評価シンポジウムを行います。このセミナーを通し、安全を担保した高い技術者の育成について皆様と討論したいと思います。セミナーは事前参加登録が必要となりますが、ぜひ多くの方のご参加をお願いしたいと思います。

日時：平成21年9月26日（土） 13：00～17：00

場所：石川県地場産業振興センター 本館第3研修室（3階）

募集人数：100名、**事前登録が必要です** 9月11日（金）締切り

参加費：会員1,000円 非会員1,500円

内容：Ⅰ 特別講演1 司会 中部部会副会長 米田 和夫

「救急撮影専門技師認定について」 救急撮影専門技師認定班長 坂下 恵治

Ⅱ 特別講演2 司会 中部部会部会長 山本 友行

「救急医療の現状」 金沢大学附属病院救急部長 後藤 由和 先生

Ⅲ 救急検査の医療安全シンポジウム

司会 医療安全対策小委員会 佐藤 幸光、小高 喜久雄

- (1) CT 検査における救急検査の現状と医療安全 福井大学医学部附属病院 山口 功
- (2) MRI 検査における救急検査の現状と医療安全 富山大学附属病院 森 光一
- (3) 血管造影検査における救急検査の現状と医療安全 金沢大学附属病院 飯田 泰治

Ⅳ 技術教育と質評価シンポジウム

司会 医療機器と画像技術評価小委員会 東村享治、天内 廣

- (1) 技術教育と人材育成 地域医療振興協会 佐藤 幸光
- (2) MRI 検査における専門技術評価とは(仮) 茨城県立医療大学保健医療学部 石森 佳幸
- (3) 放射線治療専門技術の評価とは(仮) 国立がんセンター中央病院 阿部 容久

共 催：学術委員会（医療安全対策小委員会、医療機器と画像技術評価小委員会）

後 援：北陸3県放射線技師会

申 込 先：参加申し込みを希望される方は事前登録をお願いします。

参加申し込みは <http://my.formman.com/form/pc/RAKoSRyji5FIOXed/>

または E-mail にて申し込み下さい。

中部部会ホームページからも申し込みできます。

なお、事前登録は9月11日(金)までとさせていただきます。

中部部会事務局 E-mail raddiv@med.kanazawa-u.ac.jp

お問い合わせ：福井大学医学附属病院放射線部 東村 享治 TEL：0776-61-8467（直通）

金沢大学附属病院放射線部 山本 友行 TEL：076-265-2012（直通）





技術セミナーのお知らせ

CT研究会

MR I研究会

CT研究会・MR I研究会 合同開催（中部放射線医療技術学術大会）

テーマ「CT・MRIの新技术と使用経験」

中部部会 CT 研究会・MR 研究会では第2回中部放射線医療技術学術大会にあわせて「CT・MRIの新技术と使用経験」をテーマに合同研究会を開催します。CT、MRでは多くの新技术が開発され、臨床で利用されています。我々が臨床でそれらの技術を活用するためには、詳細な特性を知っている必要があります。また、他のモダリティについての知識も必要でしょう。今回の合同研究会では、それらの新技术の詳細を解説していただき、その臨床利用の実態について報告していただきます。

【開催日時】 平成21年11月7日（土）9時20分より

【開催場所】 大垣市スイトピアセンター 第1会場

【内容】「新しい画像再構成法：ASIR」

CTにおける新しい画像再構成法として逐次近似法を利用した方法“ASIR”が開発されました。この手法により、低コントラスト分解能の向上、被曝線量の低減が可能となったといわれています。さて、その内容はどうでしょう。ASIRの原理から方法、そして、実際の利用状況について講演していただきます。

【内容】「MR Volume Imagingについて」

MRI検査において3DといえばVolume Imagingのことです。Volume Imagingは新技术ではなく以前よりMRA等に応用されてきています。しかし、現在における3D撮像の技術は3T装置の普及やパラレルイメージング等の新しい技術により今までとは異なる状況となっています。今回、MRI検査におけるVolume Imagingの現状と臨床応用について講演していただきます。

MR I研究会

第38回MR研究会 テーマ「はじめてのMRI ～頭部撮影技術のキホン～（仮）」

【開催日時】 9月～11月頃（未定）

【開催場所】 金沢（未定）

画像研究会

画像処理セミナー

【開催日時】 9月12日（土）（予定）

【開催場所】 名古屋市立大学病院（予定）

【内容】 デジタルマンモグラフィ画像処理セミナー（予定）

画像研究会講演（中部放射線医療技術学術大会）

【開催日時】 11月7日（土）9時20分より

【開催場所】 大垣市スイトピアセンター 第4会場

【内容】 フィルムメーカーが出す FPD 装置について（予定）

医療情報 システム研究会

ハンズオンセミナー・講演

【開催日時】 8月～9月ごろ（予定）

【開催場所】 浜松市もしくは岐阜市（予定）

【内容】 DICOM サーバ再入門（講演）

DICOM サーバ、ハンズオンセミナー

医療情報システム研究会講演（中部放射線医療技術学術大会）

【開催日時】 11月7日（土）9時20分より

【開催場所】 大垣市スイトピアセンター 第5会場

【内容】 RIS 再考「臨床側から本当に求められる RIS とは、検像の意味を再度考える」

乳房画像 研究会

第 32 回中部部会乳房画像研究会（中部放射線医療技術学術大会）

【開催日時】 平成 21 年 11 月 7 日（土）9 時 20 分より

【開催場所】 大垣市スイトピアセンター 第 3 会場

放射線防護 研究会

放射線防護研究会

【開催日時】平成21年10月3日（土）午後2時～

【開催場所】名古屋第二赤十字病院

【内容】「ICRP2007年勧告の要点」

第1部：教育講演「内部被ばくの線量評価」

講師 名古屋大学医学部保健学科 ICRP 第二専門委員会委員 石樽信人先生

第2部：シンポジウム「診療放射線技師に求められるものは何か？」

基調講演「Reference level の概要」

講師 藤田保健衛生大学医療科学部放射線学科 鈴木昇一先生 他

放射線防護研究会では実習形式の研究会も企画します。ご要望がございましたら下記アドレスまでお知らせください。

名古屋第二赤十字病院 有賀英司

ariga@nagoya2.jrc.or.jp

金沢大学附属病院 能登公也

knoto@med.kanazawa-u.ac.jp

放射線治療 研究会

中部部会放射線治療研究会（中部放射線医療技術学術大会）

【開催日時】平成21年11月7日（土）9時20分より

【開催場所】大垣市スイトピアセンター 第2会場

アンギオ研究会

放射線防護 研究会

アンギオ研究会・放射線防護研究会 合同開催（中部放射線医療技術学術大会）

【開催日時】平成21年11月7日（土）9時20分より

【開催場所】大垣市スイトピアセンター 第6会場

【内容】「面積線量計のデータを活かそう」

座長 浜松医科大学医学部付属病院放射線部 竹井泰孝先生

基調講演「面積線量計による被曝管理」

講師 山梨大学医学部附属病院放射線科 坂本 肇先生

会員発表「パイプライン血管撮影システムにおける面積線量計の特性」

名古屋第二赤十字病院医療技術部放射線科 西條貴哉先生

会員発表「一般撮影・透視系検査の患者線量の評価」

金沢大学附属病院放射線部 能登公也先生

超音波画像 研究会

第25回中部超音波検査フォーラム

初心者向けレベルアップ講習会 テーマ：「これであなたも乳腺ガッチリ！！」

日時：平成21年8月22日（土） 14：00～18：00 受付13：30～

会場：ITビジネスプラザ武蔵6階交流室1、2

<http://www.bp-musashi.jp/guide/about/index.html>

受講者120名（事前申し込みをお願いします） 受講料1,500円

◇受講申し込みE-mail：kct-otobe@octn.jp 乙部克彦

FAX：0584-75-5715 大垣市民病院診療検査科超音波室 乙部

氏名・施設・メールアドレス（PC、携帯電話アドレスOK）又はFAX番号を記載のうえ、申込み下さい。

「匠が教える、知っておきたい乳腺画像」

講演1 匠が語る「マンモグラフィーのココが知りたい」 西出裕子（福井県立病院）

講演2 匠が教える「乳腺疾患のエコーと病理」 田中文恵（福井赤十字病院）

short break

「観察環境は整備されていますか」 江端清和（高村病院・福井県）

パネルディスカッション ー初心者教育ー

あの！竹原靖明先生を迎えてのパネルディスカッション

「初心者教育について・初学者から中級、匠への道」

パネラー 大場教子（金沢循環器病院）

北川敬康（藤枝市立総合病院）

助言者 竹原靖明（横浜総合検診センター）

田中文恵

西出裕子

共催中部超音波検査フォーラム

アロカ（株）、（株）日立メディコ、（株）ナナオ、コンカミノルタヘルスケア
（株）、富士フィルムメディカル（株）、GE横河メディカルシステム（株）

第26回中部超音波検査フォーラム

初心者向け腹部エコー講義・実技1日コース（事前登録制）

日時：平成21年8月23日（日）9:30～16:30

会場：ITビジネスプラザ武蔵6階交流室1、2

<http://www.bp-musashi.jp/guide/about/index.html>

対象者：エコー検査初心者、これから始める方、エコーに興味のある方

受講者：36名（定員に達したら受付終了します）受講料3,000円

—受付 9:30—

講義1：胆嚢・胆管の解剖とチェックポイント

ハンズオン（説明：胆嚢・胆管）

講義2：膵臓・腎臓の解剖とチェックポイント

ハンズオン（説明：膵臓・腎臓）

実技指導（1グループ：5名予定）胆道・膵臓・腎臓

—休憩・昼食—

講義3：肝臓・脾臓の解剖とチェックポイント

ハンズオン（説明：肝臓・脾臓）

実技指導（1グループ：5名予定）肝臓・脾臓・消化管等

—質疑応答—

講義4：症例に学ぶ

◇受講申し込み E-mail：kct-otobe@octn.jp

乙部克彦迄

FAX：0584-75-5715

大垣市民病院診療検査科超音波室

乙部

氏名・施設・メールアドレス（PC、携帯電話アドレスOK）又はFAX番号を記載のうえ、申込み下さい。

共催：中部超音波検査フォーラム

アロカ（株）、（株）日立メディコ、GE横河メディカルシステム（株）

超音波画像研究会（中部放射線医療技術学術大会）

【開催日時】 平成 21 年 11 月 7 日（土）9 時 20 分より

【開催場所】 大垣市スイトピアセンター 第 7 会場

事務局からのお知らせ

中部部会事務局の連絡先
〒920-8641 金沢市宝町 13-1
金沢大学附属病院 放射線部内
(社) 日本放射線技術学会中部部会
TEL: 076-265-2010
FAX: 076-234-4311
E-mail raddiv@med.kanazawa-u.ac.jp

中部部会ホームページ URL : <http://jsrt-chubu.org/index.cgi>

会員情報の変更は技術学会本部のホームページ(<http://www.jsrt.or.jp/>)の入会案内からお願いします。

編集後記（事務局より）

昨年度より中部部会と中日本地域放射線技師会との合同開催となりました中部放射線医療技術学術大会（CCRT）ですが、非常に多数の参加者に恵まれ大成功に終わりました。会員数の減少が嘆かれている両会の心配をよそにますますの発展を納めますことを切に願うයි
だいであります。

高速道路の ETC 割引も利用できますので近隣のみならず中部地区全域から多数のご参加をいただき、開催委員会の皆様を安心させることができるよう中部部会事務局からもお願いいたします。

(社)日本放射線技術学会中部部会
ビーム中部 2009 年度第 2 号

発行：山本友行

編集：上田伸一